

令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日	年度当初 7月 1日 / 年度末 2月 27日
氏名	小林 雅彦
子ども学科	教授
学科以外の兼務職	

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の5つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会やFD委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

各教員が記入したティーチング・ポートフォリオは本学ホームページにて3年間公表します。

1. 責務 (何を行っているのか)

①担当科目

担当科目名	学科	学年
国語科概論	子ども	1
算数科概論	子ども	1
算数科教育法	子ども	1
道徳の理論と指導法	子ども	1
教職実践演習	子ども	2

②担任制度

担任 (1年生)		担任 (2年生)	
----------	--	----------	--

③委員会活動

運営協議会		SD委員会	
研究倫理委員会		地域連携委員会	
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会		広報委員会	
認証評価準備委員会		高大接続・連携委員会	
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	
学生委員会		ハラスメント防止委員会	
障害学生支援・学生サポートセンター運営WG		教員資格審査委員会	
キャリア支援委員会		教員採用選考委員会	
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD委員会		授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会		紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	委員
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	
不正調査委員会		衛生委員会	

④実習業務

保育実習部会長		小学校部会長	担当
幼稚園実習部会長		子ども学科 実習事務	

⑤びわ湖東北部地域連携協議会

* 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3 地域社会への貢献プラットフォーム型

協議会員		WG-A (産業振興に向けた産官学連携事業) 学内代表	
協議会事務局		WG-B (地域コミュニティの活性化事業) 学内代表	
WG-D (事業管理) 学内代表		WG-C (地域を担う次世代人材の育成) 学内代表	

⑥外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	有 ・ (無)
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額 (期間中合計)	
研究課題	
備考 (分担者等)	

2. 理念 (どのような考えに基づいて行っているのか)

教育理念	「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【子ども学科】 幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し、向上心や探究心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材の育成
個人の教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識や実践的指導力を身に付けさせるため、実践事例や具体的な教材等を用いた授業を工夫し、個々のよさを引き出し、育成と向上に努める。 ・教科教育法では、指導案の作成と模擬授業を積極的に取り入れ、実習や現場に出たときに対応できるように努める。その中で、子どもの思考や行動を具体的に描き、それに応じた指導や支援ができるよう、個の学びに焦点を当て、実践的な教師の育成に努める。 ・指導要領の主旨や現場が抱える課題などについて、新聞記事、雑誌等を資料として活用した授業を推進する。また、インターネットなどを活用し、保育士や教員になるための学生の意欲や社会で求められている汎用的な資質などについて指導し、校・園での実習や就労時の心構えや実践力を身につけさせ、資質の向上に努める。

3. 方法 (その考えをどうやって実現しているか)

授業	<ul style="list-style-type: none"> ・概論では、具体的な教材や資料等を使って、体験や作業等を取り入れ教科の内容がよくわかるようにした。 ・教科教育法では、指導案を作成させ模擬授業を取り入れ、指導者と子どもの両面の立場から授業を見られるようにした。指導案のポイントについては、資料や子どもの思考や行動を具体的に描けるように心がけた。 ・指導要領や現場が抱える課題などについて、新聞記事などを資料として活用し、思考力を高めるような工夫をした。
授業以外 (学生支援等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めや終わりに採用試験や学習などについて、相談を受けた時にアドバイスができることがあれば、しっかり話を聞いてするようにしている。 ・学科会議で学生の動向を確認し、課題のある学生がいれば、その対応を意識しながら授業等を進めている。

4. 成果 (その方法を行った結果、どうだったか)

授業	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り自分で考え、表現することを意識して取り組んできた。それによって、自分の考えや指導案を書く力は向上してきている。特に指導案については、小学校指導要領解説を読み、指導する上で何が大切かを知り、具体的な方法を自分で考えることにより、授業を受ける子どもたちが「考え」「判断し」「表現する」学習へと変わってきている。また、授業での発問や板書など具体的に指導することで、「授業の中でどうすればよいか」が具体的に学ぶことができた」と学生に評価されている。
授業以外 (学生支援等)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の受講者は真面目な学生が多く、ほとんど欠席もなく、課題に対してもしっかりと取り組むことができていた。特に男子学生は、早くから採用試験に対する意識も高く、学習方法などについて、アドバイスなどをしてきた。 ・交通事故に遭遇した学生がおり、体調等も気遣いながら授業を進めてきた。

5. 目標 (今後どうするか)

授業	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の学生が保育士や教員に向けてきちんと力をつけていけるように、できるだけ実践的な授業をしていきたい。教職実践演習、基礎力Ⅱなど、実習の場での体験も生かして、学生自身が授業に主体的に取り組めるようにしていきたい。
----	--

	・児童へのみとりと対応を重視し、個々の活動や学びに細やかに対応していける学びの充実を図っていききたい。
授業以外 (学生支援等)	・学生の進路や受験についての相談など、日々の授業態度などからみとり、できる限り適切なアドバイスができるように対応していききたい。

6. 記載内容に関する根拠資料

- ①令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 シラバス
- ②令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 科目別成績分布状況
- ③令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 担任一覧表
- ④令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 委員会構成名簿
- ⑤令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 組織図

以上